

紫波町長 熊 谷 泉 様

令和6年度の市民参加条例対象事項として各課が実施した取り組みについて、当会議の意見をまとめましたので提出いたします。

令和7年3月31日

紫波町市民参加推進会議

委員長 岡田 菜月



令和6年度市民参加事後評価

①第四次紫波町観光振興計画（商工観光課）

- ・まちづくり座談会の議事録は町のホームページで公開されているが、まちづくり座談会を意見交換会として位置づけるのであれば、第四次紫波町観光振興計画についての意見と回答は見やすいようにまとめていただきたい。
- ・事前評価を踏まえて、その期間中にモニターツアーやこどもの遊び場アンケートを実施しており、市民参加の「その他の手法」として改めて事後評価をする必要があると思われる。

② 紫波町中小企業振興条例（商工観光課）

- ・商工会と連携し、ターゲットを明確にしたことによって、意見公募の意見件数の増加やシンポジウムの参加に繋がったと思うので、今後も続けていただきたい。
- ・計画の理解を深めるためにシンポジウムを先行して開催するなど、柔軟に対応していただきたい。

③ 紫波町地域再犯防止推進計画（消防防災課）

- ・意見交換会が単なる説明会とならないように、前段に広報動画を視聴し、講演後に意見交換の場を設けるなど、会の構成を工夫して良かった。
- ・事前に関連団体等に手紙で協力依頼や参加対象者に個別案内をし、意見公募の案内や声掛けをするなど、綿密なコミュニケーションを図るための工夫がされていた。
- ・専門性が高く、町民の関心が薄いと思われるが、まずは一般の方の目に触れる形で公開した意見交換会を行ってみてもよいのではないかな。

④ 紫波町水防計画及び紫波町地域防災計画（消防防災課）

- ・次年度以降の計画変更の際には、各地区で意見交換会を開催するなど、より綿密なスケジュール設定と積極的な市民参加への取り組みを行うべき。
- ・身近な話題として考えるきっかけと意見公募がワンセットになっていて、市民に理解され、地域からの研修の要望があるなどの成果が繋がったと思う。防災目的でなくても、各地域には活発なグループも多くあるので、それらへの呼びかけも効果があると感じた。

⑤ 紫波町都市計画マスタープラン及び立地適正化計画（都市計画課）

- ・意見公募の資料として、要旨を1枚にまとめたチラシを作成したことにより、市民の関心を惹き、より理解しやすくなるよう工夫がされていた。
- ・次期策定時は計画を明文化する前に、計画の基本事項について市民参加で議論する場を設けるなど前向きな取り組みを期待したい。
- ・前年に実施した町内中学生対象アンケートや意見公募の案内を送付するなど、町の将来を担う世代にまちづくりへの理解と関心を深めてもらうこと（都市計画マスタープランの存在を認識してもらうこと）を意図した仕掛けが良かった。

⑥ 紫波町子ども・子育て支援事業計画（こども課）

- ・ 父母参観や父母会役員会、幼児教育連絡会など様々な機会を捉えて、計画づくりのプロセスを話題として取り上げるなど、丁寧に市民参加に取り組んだ。
- ・ 児童対象のワークショップが実施できなかったことは残念だが、来年度からの市町村こども計画策定の際には、保護者だけでなく児童から意見を聞く機会(ワークショップ)の実現に期待したい。

⑦ スポーツ交流拠点施設の設置（紫波町スポーツ施設条例）（生涯学習課）

- ・ 選手の活動に合わせて意見交換会を開催し、40名の参加者を集められたことは良かった。
- ・ 供用開始後、施設を運用する中でイベント等の開催に合わせて積極的に周知を図る必要がある。

全体的な意見

- ・ 意見公募の設置場所として、効果的な手法と設置場所を検討する必要がある。
- ・ まちづくり座談会は十分な議論ができないため、関連団体の会合等に出向いて意見交換の機会を設けるなど、積極的な市民参加を行っていただきたい。